

2016年12月6日

モノクロプロダクションプリンター「RICOH Pro 8200 シリーズ」を新発売 ～高い生産性と用紙対応力で、企業内印刷から商用印刷ニーズに対応～

株式会社リコー（社長執行役員：三浦善司）は、プロダクションプリンター「RICOH Pro シリーズ」のモノクロ機の新製品として「RICOH Pro 8200 シリーズ」、5機種を2017年1月11日から発売します。

新製品は「RICOH Pro 8100 シリーズ」の後継機として発売するもので、連続複写速度は136枚/分*¹（A4ヨコ）と、前身機を上回る高い生産性を提供します。また、カラープロダクションプリンターで採用しているVCSEL*²技術を搭載し、1,200dpi × 4,800dpiの書き込み解像度を実現。高画質を求めるプロのニーズにもお応えします。さらに用紙対応力にも優れ、薄紙（40g/m²）から厚紙（300g/m²）をはじめ、新たに、最大330.2×700mmの長尺用紙に対応（オプション装着時）。マニュアルやポスターなど、さまざまなアウトプットの制作が可能です。オプション群も充実しており、最大50枚まで中綴じ可能な製本機、紙折りユニット、エアピック方式の給紙ユニットなどを用意し、プリント業務の自動化をサポートします。

これらの特徴により、企業内の大量印刷ニーズが高い流通業、金融業、官公庁をはじめ、商用印刷を手がける印刷事業者様への導入を進めてまいります。

■コピー/プリンター/スキャナー機能搭載機

製品名	RICOH Pro 8220S	RICOH Pro 8210S	RICOH Pro 8200S
連続複写速度（A4ヨコ）	136枚/分	111枚/分	96枚/分
保守形態* ³	トナーを含んだカウンター式保守契約、またはスポット保守契約		
標準価格（消費税別）	820万円	650万円	450万円

■プリンター機能搭載機

製品名	RICOH Pro 8220Y/8220HT	RICOH Pro 8210Y/8210HT
連続プリント速度（A4ヨコ）	136ページ/分	111ページ/分
保守形態* ³	<ul style="list-style-type: none"> ・Yモデル：年間保守契約、またはスポット保守契約 ・HTモデル：トナーを含んだカウンター式保守契約 	
標準価格（消費税別）	740万円	570万円

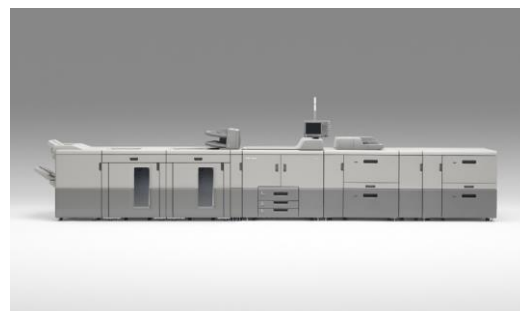
*¹ RICOH Pro 8220Sの場合。前身機 RICOH Pro 8120Sは135枚。

*² Vertical Cavity Surface Emitting Laser（面発光型半導体レーザー）の略。

*³ 詳しくは販売担当者にご確認下さい。



RICOH Pro 8220S（オプション装着）



RICOH Pro 8220Y/8220HT（オプション装着）

株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL：03-6278-5228（直通） E-mail：koho@ricoh.co.jp
 お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL：0120-892-111

＜新製品 RICOH Pro 8200 シリーズ の主な特徴＞

1. プロフェッショナルニーズにお応えする高品質

- ・ 面発光型半導体レーザーVCSEL^{*1}技術を搭載。40本のレーザービーム書き込みにより、1,200dpi×4,800dpiの書き込み解像度を実現し、高い画像品質を求めめるお客様のニーズにお応えします。
- ・ スキュー(用紙の斜め搬送)検知とレジスト(搬送補正)を別々に制御するリコー独自の「ロータリーゲート」機構を搭載。高速印刷時でも用紙搬送を適切に制御し、優れたレジスト精度を実現します。
- ・ 濃度を定期的にチェックし機器の電子制御とトナー補給制御を行うプロセスコントロールにより、大量出力時でも生産性を落とすことなく均一な濃度を保った高品質な印刷が可能です。

*1 Vertical Cavity Surface Emitting Laser(面発光型半導体レーザー)の略。

2. 短納期が求められる印刷現場で発揮する高い生産性

- ・ 前身機からさらなる高速化を達成し、連続複写速度は毎分136枚^{*2}(A4ヨコ)という高い生産性を実現。印刷業務が集中する現場で、その性能を発揮します。
- ・ 万一の紙詰まりの際にお客様が触れる引き出しレバーやノブに、新たにLEDを搭載。処理が必要な箇所のLEDを点灯することで、操作性の向上に加え、詰まった紙の取り忘れも防止し、ダウンタイムを低減します。
- ・ 新たに「生産性優先モード」を搭載。1つの印刷ジョブで紙厚の異なる用紙が混在する場合、従来は厚さに応じた定着温度を設定するため印刷速度が変化していましたが、新モードにより定着温度を最適にコントロールし、高い生産性を維持します。

*2 RICOH Pro 8220Sの場合。前身機 RICOH Pro 8120Sは135枚。

3. さまざまなアウトプットの制作を可能にする幅広い用紙対応力

- ・ 紙厚は、片面印刷時は40g/m²～300g/m²、両面印刷時は52.3g/m²～256g/m²までに対応。また用紙サイズは、郵便はがきからA3フルトンボも出力可能な330.2×487.7mm(13×19.2インチ)まで幅広く対応しています。
- ・ さらに、オプションの装着により、新たに最大330.2×700mmの長尺用紙に対応。マニュアル、ポスター、カレンダー、ブックカバーなど、さまざまなアウトプットの制作が可能です。
- ・ ベルト定着機構の採用により、コート紙、封筒、薄紙などさまざまな用紙種類に対応します。

4. プリント業務の自動化をサポートする豊富なオプション群

- ・ 大容量の給紙ユニットやスタッカーをはじめ、くるみ製本^{*3}、リング製本^{*3}、紙折りユニットなど多彩なオプションを用意。プリント業務の自動化をサポートします。
- ・ 新たに、Plockmatic社(スウェーデン)製の中綴じ製本機^{*3}に対応。中綴じ枚数は最大50枚まで可能です。また、三方断裁や背表紙部分のスクエアホールドも可能です。(2017年春発売予定)
- ・ エアピック方式の給紙ユニットがさらに進化。給紙の際、従来の左右および前方からのエアアシストに加え、新たに用紙上面からのエアで1枚ずつ吸着。用紙の重送低減に貢献します。

*3 RICOH Pro 8220S/8210S/8200Sのみ対応。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービス、プロダクションプリントソリューション、ビジュアルコミュニケーションシステム、デジタルカメラ、産業用製品・サービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2016年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,090億円)。

創業以来80年にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能社会の実現への積極的な取り組みを行ってきました。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「*imagine. change.*」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>